

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習Ⅱ Medical Coding Ⅱ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	((医療事務技能審査試験対策))	メディカルークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求実務演習Ⅰ・ICDコーディングⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子	非常勤講師室	火・金の9時から13時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習Ⅰの学習を確認するとともに、 ①外来及び入院レセプト作成 ②支払基金・国保連合会への請求実務を中心に学習する。				
授業の目標				
請求実務のスキルアップを目指し、 ①DPC・電子カルテに必要な知識が身につくようにする。 ②診療科ごとに対応できるように算定全般を理解し、レセプトが点検できるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に様々な診療科の事例を検討しながら、正しいレセプト点検を行うことができるようにする。				
学習の成果 (学習成果)				
①診療報酬点数表を読みこなすことができる。 ②医療保険制度について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来と入院料について (ガイダンス) ①			
第2回目	外来と入院料について (ガイダンス) ②			
第3回目	入院料 ① (初診料)			
第4回目	入院料 ② (緊急入院算定と記載)			
第5回目	入院料 ③ (投薬)			
第6回目	入院料 ④ (注射)			
第7回目	入院料 ⑤ (処置)			
第8回目	入院料 ⑥ (手術)			
第9回目	入院料 ⑦ (検査)			
第10回目	入院料 ⑧ (画像診断)			
第11回目	入院料 ⑨ (リハビリ・その他) (小テスト I)			
第12回目	食事療養費			

第13回目	演習問題 I	
第14回目	演習問題 II	
第15回目	演習問題 III	
第16回目	演習問題 IV	(小テスト II)
第17回目	医療事務技能検定対策 ①	
第18回目	医療事務技能検定対策 ②	
第19回目	医療事務技能検定対策 ③	
第20回目	医療事務技能検定対策 ④	
第21回目	医療事務技能検定対策 ⑤	
第22回目	医療事務技能検定対策 ⑥	
第23回目	医療事務技能検定対策 ⑦	
第24回目	医療事務技能検定対策 ⑧	(小テスト III)
第25回目	医療事務技能検定対策 ⑨	
第26回目	医療事務技能検定対策 ⑩	
第27回目	医療事務技能検定対策 ⑪	
第28回目	医療事務技能検定対策 ⑫	
第29回目	医療事務技能検定対策 ⑬	
第30回目	医療事務技能検定対策 ⑭	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極艇に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に挙げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
医療事務医科テキスト1～4 (ニチイ学館) 医療事務医科スティブック1 (ニチイ学館) 医療事務医科ハンドブック (ニチイ学館) 演習問題集 (ニチイ学館)		
履修上の留意点・ルール		
請求実務演習 I を履修していること。 メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。		